

THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



創立 1954年 3月 8日
承認 1954年 3月 30日

例会日時 毎週月曜日
12:30 ~ 13:30
例会場 刈谷市新栄町 3 の 26
刈谷商工会議所内
事務所 TEL <0566>22-2111
FAX <0566>25-2111
メール kariyac@katch.ne.jp
ホームページ http://www.kariya-rotary.com
会長 神野 公 秀
幹事 鬼頭 一 浩
会報委員長 池田 直 樹

2020 ~ 2021年度 国際ロータリー ホルガー・クナーク 会長テーマ

Rotary Opens Opportunities ロータリーは機会の扉を開く

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

第3118回例会プログラム

[当年度=35回目；当月=2週目]

2021年（令和3年）5月10日(月)

1. 例会……………〈司会：プログラム委員会〉

- 12:00 〈食 事〉
12:28 1. チャイム
12:30 2. 点 鐘 ……〈会 長〉
3. 開会宣言
4. 国歌斉唱
5. ロータリーソング斉唱……我等の生業
6. 講師・ゲスト並びにビジター紹介

7. 会長挨拶並びに会長報告
8. 米山奨学生挨拶……^{りゅう}劉 ^{ばいはい}百恵 さん
9. お祝い
(誕生日祝・結婚記念日祝・入会記念日祝)
10. 幹事報告
11. 出席報告
12. 委員会報告
13. ニコニコボックス報告
14. 次週並びに次々週のプログラムの予告
(5/17) ……短縮例会
(5/24) ……短縮例会

2. クラブフォーラム……………〈国際奉仕委員会〉

- 13:00 卓話「コッポン マー カップ
刈谷ロータリークラブ」
講師 アジア子ども美術協会
代表 藤原 孝太郎 様
(紹介者 内藤 昇 会員)

15. 謝 辞
16. 点 鐘……〈会 長〉
17. 閉会宣言

13:30 18. 散 会

ゲ ス ト

米山奨学生 ^{りゅう}劉 ^{ばいはい}百恵 さん

出 席

会員総数 96名 出席免除 24名
出席義務者+免除者の内例会出席者 88名
欠 席 8名 出席率 90.90%
前々回（4/19）の修正出席率 100%

会 長 報 告

- 1) 刈谷市教育委員会より、足踏み式消毒スタンド贈呈のお礼状が届きました。

幹 事 報 告

- 1) 5月1日より、ロータリーレートは1ドル109円になりました。
2) 5月12日より愛知県に緊急事態宣言が発令されましたので、次週17日の例会は、セレモニーのみの短縮例会を予定しております。お食事は持ち帰り頂くとお弁当をご用意致します。不安のある方は、遠慮なくお申し出下さい。

会長あいさつ

神野 公秀



5月5日の日に、沖縄、鹿児島県奄美地方に、平年より5日ほど早く梅雨入りが宣言されました。我々の生活は、コロナにより制限がされたままですが、時は確実に進み、季節は春から夏に移り変わろうとしています。

今年のGWも、海外はもとより、県をまたぐ移動も自粛要請された、昨年に続いて我慢のGWでしたが、いかがお過ごしをされましたでしょうか？愛知県では、「まん延防止等重点措置」を実施し、外出の自粛、行動の規制をお願いし、コロナウイルス蔓延を押さえようと試みましたが、感染力が強く、重症化率が高い変異株の出現で、明後日(12日)より、愛知県にも「緊急事態宣言」が5月31日までの期間で発令されることが決定されています。大変残念ですが、次週から、我々のロータリー活動も、また変更をせざるを得ないと考えています。後ほど、鬼頭幹事より報告をさせていただきますので、ご理解とご協力をお願い致します。

今日、5月10日は5(こ)ten(テン)で「コットン」の語呂合わせと、綿が夏物素材としてよく使用されることから「コットンの日」として1995年(平成7年)に日本紡績協会により制定されました。1950年(昭和25年)の5月10日に、日本気象協会(JWA)が「気象協会」として業務を開始したことに由来して、日本気象協会創立記念日とされています。余談ですが、「天気」とは、晴れや、雨など数時間から数日程度の大気の状態、「天候」は天気と比べて、やや長く数週間から数か月の大気の状態、「気候」は毎年繰り返される大気の状態を示します。

今日、(5月10日)から16日は、野鳥保護を目的とした「愛鳥週間」です。かつてはアメリカから伝わった愛鳥保護の運動を行う「バードデー」が4月10日に定められていましたが、日本の野鳥の活動に合わせて1か月遅らせることになり、1950年から「愛鳥週間(バードウィーク)」に改称されました。

日本で見られる野鳥は約600種類といわれています。ひとくちに「野鳥」といっても、その生態は様々です。スズメやハトのように、年間を通して同じ縄張りで生きる「留鳥」、鶯やヒバリのように季節に合わせて国内を移動する「漂鳥」、ツバメやホトトギスのように春に日本を訪れ、子育てをして秋に帰る「夏鳥」、ハクチョウやマガンのように日本にやってきて冬を過ごす「冬鳥」が代表的です。その他、台風などの影響で本来の生息地から迷い込んでくる「迷鳥」、渡りの旅路の途中で日本に立ち寄る「旅鳥」がいます。

「花鳥風月」の言葉が示すように、野鳥は日本人の暮らしに彩を与え続けてきました。自由に大空を飛び回る姿は天の使いをイメージさせ、神様の使者として多くの日本神話や地域の伝承に登場し、今も愛されています。

苦労しらずの「フクロウ」や、悪い出来事を嘘にする「ウソ」など、縁起物のモチーフとしても人気です。また、長い旅路を経て日本にやってくる渡り鳥や、季節によって住処を変える漂鳥は、春夏秋冬のうつろいを教えてくれる季節の使者です。パートナーを求めずや、子育てに奔走する健気さに心打たれもします。身の回りに野鳥がいる環境が当たり前だった日本人ならではの遊びで、鳥の鳴き声を人の言葉に置き換える「聞きなし」があります。例えば鶯の「ホーホケキョ」は「法法華経」。これは江戸時代に定着した聞きなしで、それ以前は「ホーホキ」「ヒートク」など様々あったそうです。

ホトトギスの「特許許可局」

メジロの「長兵衛、忠兵衛、長忠兵衛」

ホオジロの「一筆啓上仕り候」

コジュケイの「ちょっと来い、ちょっと来い」

ケイセンダイムシクイの「焼酎一杯ぐい〜」

メボソムシクイの「銭取り、銭取り」

など、本当かな？と確かめてみたくなる聞きなしがたくさんあります。声はすれども姿は見えぬ…なことも多い野鳥ですが、聞きなしを手がかりに、近くに暮らす野鳥を調べてみるのは、人に会うことを減らし、移動が規制をされている今、されてみては如何でしょうか…。

金婚式のお祝い



神谷 龍司 会員

お祝い

5月の会員の誕生日…太田宗一郎、近藤純子、二村寿泰、菊地康英、林正敏、横山宜幸、久米博明、鬼頭一浩、盛田高史、上田武司、遠藤直樹会員。

配偶者の誕生日…南真奈美(康)、伊藤佳代子(節夫)、横山伸子(昌幸)、遠藤秀代(直樹)、磯村由美(巖)様。

5月度結婚記念日…神谷光義、杉山欣輝、神谷龍司、鈴木豊、堀田昌義、鈴木一正、吉原孝彦、田中正之、菊地康英、新海伸二、豊田貴久、丹羽克誌、寺尾聡一郎会員。

5月度入会記念日…神谷強、加藤英樹、丹羽克誌、鬼頭一浩、新海伸二、石川友美、近藤純子、二村寿泰会員。

「コップン マー カップ 刈谷ロータリークラブ」

アジア子ども美術協会
代表 藤原孝太郎 様



はじめに

安城特別支援学校在職中の2011年からタイの先生方が研修のために毎年学校を訪れました。そんなご縁があって退職後にはタイの子どもたちの教育に関わりたと思いました。

2016年からタイ全国の学校を回りながら地域格差の現状を目の当たりにして、人々がもっと社会的弱者に目を向け、共感の気持ちを持つことがこの国の発展に不可欠だと感じました。

現在は、子どもたちが互いに理解し合うためのアートキャンプをタイで行っています。

また、タイの特別支援教育について調査研究、中古車いすプロジェクトにも取り組んでいます。



平和で豊かなアジアの共生社会を目指す人材を育成する

アジアの国々が平和で安定した発展を続けるため、「多様な個性が十分尊重され誰もが排除されない社会をつくる」というソーシャルインクルージョンの理念を広めなければなりません。そのためには、子どもたちが早期から障害や多様性への理解を深める必要があると考えます。

そして、次の時代を担う子どもたちの共感の気持ちを育み、広い視野と希望を持って生きる子どもを育成することで平和で、豊かなアジアの共生社会を目指したいと思います。

ACHAA（アジア子ども美術協会）

子どもたちが「障害や多様性への理解」を学ぶことを具現化するために、タイや日本の仲間とボランティア団体「ACHAA」を立ち上げました。東南アジアでは、専門教師の不足から図工や美術を学ぶ機会が少なく、絵具など画材を使う経験があまりありません。そこで、私たちはタイの各地を訪れて、多様な学校の子どもたちが交流できるインクルーシブアート活動に取り組んでいます。

刈谷ロータリークラブご支援の振り返り

- ・「ノーソングヤウ村学校ドーム等の建設」、「アジア子ども絵画展」
- ・「バンブーアートキャンプ」「教育支援プロジェクトへ2021」

いつも東南アジアの社会的弱者に目を向けていただき感謝の気持ちでいっぱいです。

今後とも私たちの活動にご理解とご支援をお願いいたします。